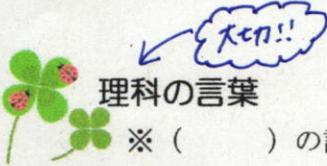


4 まとめを書こう。

がけが ( **しほ模様** ) に見えるのは、( **色** )、( **形** )、( **大きさ** ) などがちがうつぶでできた物が、( **層** ) になって、( **積み重なっている** ) からです。



理科の言葉

※ ( ) の語句は必ず暗記するようにしよう。

右の絵のように、いろいろなつぶが ( 1 ) になって重なったものを ( 2 ) という。地層は、がけの表面だけでなく、( 3 ) にも広がっている。



- 1 層
- 2 地層
- 3 おく

3・4時目【P107～P109】

1 めあて(問題)をかこう ※では、今度は、地層の中身について調べていこう!!

**地層のそれぞれの層は、どのような物でできているのだろうか。**

2 P108, 109 の写真から分かることを書いてみよう。

愛知県豊田市の地層は、どろ、砂、れきといった身近なものでできている。  
(いし?)

大分県豊後大野市は、火山灰のつぶでできているので、近くで火山の噴火があったと考えられる。

3 まとめを書こう。

地層のそれぞれの層は、( **れき** )、( **砂** )、( **どろ** )、( **火山灰** ) などできている。地層には、主に2種類ある。1つは、( **れき** )、( **砂** )、( **どろ** ) の層できている地層、もう1つは、( **火山灰** ) の層できている物とがある。

教科書 P108、109 の  
上の写真… ( **水** ) の働きでできた地層  
下の写真… ( **火山** ) の働きでできた地層

理科の豆知識 [れき、砂、どろのちがいは?]

- ( **れき** ) …つぶの大きさが2mm以上の物
- ( **砂** ) …つぶの大きさが2mm未満、1/16以上の物
- ( **どろ** ) …つぶの大きさが1/16未満のもの